

特別活動で成長を促す生徒指導を ~ 望ましい集団活動を ~

特別活動っていったって、いろんな場面があるんだけど..

そうですね。成長を促す生徒指導を実施する場面は、「望ましい集団活動」の場面かな。

その「望ましい集団活動」って何？

子どもたちが、自分たちの課題を自分たちの力で解決していく活動って言えばいいかな。

例えば学級会とか、中学校の体育祭みたいな活動ね。

そのとおり!!

特別活動のよさは、子どもたちが自分たちのこととして課題をとらえ、自分たちで解決していくところです。

そこでは子どもたちの「目的意識の醸成」「自己決定」「個性・能力の発揮」「協同性の発揮」が十分に期待できます。自分の学校での「望ましい集団活動」は何か、そしてどう取り組ませるのかを明らかにして、右に示した4つの視点に基づき、活動を充実させることが大切です。

望ましい集団活動を支える4つの視点

協同性

みんなで力を合わせ学校生活を充実させます

目的意識

みんなで目標や課題を共有します

個性・能力

一人一人の個性や能力を発揮して、役割や責任を果たします

自己決定

目標達成や課題解決の方法について話し合い決定します

自分たちの課題を自分たちの力で解決していく活動(学級会や体育祭など)

この4つの視点から、学級会や体育祭などの特別活動の取組を見直すことが大事です。

その気にさせる事前の活動と次につながる事後の活動

学級会で「学級目標」を決めようよと、いきなり学級会の議題を出したらどうなる？

盛り上がりかけた、消化試合のような学級会になるんじゃないかな。

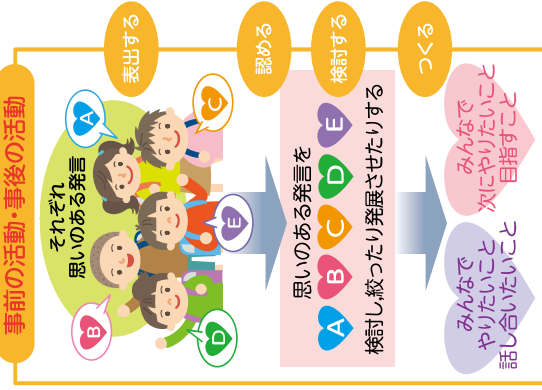
そのとおり!! そうなのは、一人一人の子どもにも自分に関係があることだと思わせていないからです。

じゃあ、そうならないポイントは？

事前の活動や事後の活動で次のことを重視することです。

- 考えを演出させる
- それぞれの考えが大切にされていると実感させる
- それらの考えを巡らしたり、まとめたりすることがより良くなることを実感させる

望ましい集団活動で大切なことは、一人一人の集団活動への参加意識です。自分もその集団で大切な一員であることが実感できるような事前活動、事後活動が重要です。



生徒指導ガイドブック ~ 実践例の見方 (特別活動編) ~

この後に掲載されている実践例(授業編)の見方を紹介します。

このページで重点をかけている観点

事前の活動

どのように活動を進めるのか。その方法とポイントを示しています。

事後の活動

特活はやっぱり、事前、事後の活動が大事なのね!



望ましい集団活動のポイント ~ その気にさせる・次につながる ~

学級会や体育祭なんかの取組のどこをどのように見直すっていうの？

学級会でも体育祭でも見直すポイントは同じです。

えー。全然違う活動だと思うんだけど、ポイントは同じなんですか？

学級会も体育祭にも、事前と事後の活動があります。ポイントはそこです。その事前と事後の活動をどのようにやるのが望ましい集団活動になるかどうかの分かれ目になるんです。

じゃあ、そのポイントは？

子どもを事前の活動では「自分事としてその気にさせる」こと、事後の活動では「次の活動へつなぐ評価や振り返りが最も大事です。」

児童生徒が、目的意識をもち、自己決定をし、個性・能力や協同性を発揮する本活動(学級会や体育祭など)にするためには、事前の活動でいかにして「自分事としてその気にさせるか」、事後の活動でいかにして「次の活動につながる振り返りをさせるか」が大切です。

